

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十六年三月度 入選句（投稿総数千三百六十三句・小中学投句数七百八十八句）

### 特選

選者 説田 祐子

大垣のかえるもいよいよ動きだす 大垣市 伊藤 誠章(小四)

季節は春、啓蟄も過ぎて冬ごもりしていた虫たちがはい出てくる頃です。そんな時、作者は土の中に睡っていたカエルが外に出てモゴモゴと動き始めたのを見たのでしよう。カエルは全国に生息していますがそれを「大垣のかえる」と表現したのがおもしろいです。大垣の地にも春がきて万物みなが冬の寒さをのりこえて動き始めた躍動感とその喜びが感じられる句です。

パソコンでアルバムできた春うらら 大垣市 白井 咲貴(小五)

作者は五年生とあります。学校のパソコンクラブか家庭でか分かりませんが、パソコン操作をしっかりと学んで、きつと楽しいイラストや思い出の写真の入ったアルバムができたのでしよう。出来上ったアルバムをうららかな春の日さしの中で見ている作者の満足感と充実感が伝わってきます。作者の一年間のがんばりも伝わる一句です。「春うらら」の季語がよく効いています。

道ばたで 幸せ配る春の花 大垣市 高橋 百子(小四)

一段と寒かった今年の冬も終わり春を知らせる春花があちらこちらに一つ、二つと咲き始めます。今まで枯れ草と硬い土で囲まれていた道の端っこも、タンポポ、犬のふぐり、レンゲ草などが次々に咲いてきます。道行く人はこれらの花を見て春の訪れを感じ胸あたたまるものです。これを作者は「幸せ配る」と感じたままの言葉で表しています。直截的、断定的な表現で締まった句になっています。

### 秀逸

はるかぜといっしょにおどるわたしたち 大垣市 くわばら しほ(小一)

すいせんがこちらをむいてわらってる 大垣市 くわ原 ゆな(小二)

春風にのって流れるハーモニカ 大垣市 平松 佳純(小五)

和太鼓も卒業祝いドンドン 大垣市 高橋 真衣(小六)

パパとママおだいりさまとおひなさま 三重県桑名市 説田 千里(小二)

卒業式ぼくの目の中海になる 大垣市 西川 れん(小五)

犬走るちようちよがあとについて行く 大垣市 吉岡 杏紗(小三)

うれしくてほほをそめてるひな人形 大垣市 安田 あずみ(小四)

さくらちるかたに小さな花もよう 大垣市 立神 花芽里(小四)

たんぽぽとかえってきたら ははえがお 大垣市 佐久間 亨弥(小四)

入選

北風の走った後を草も追う 愛知県蒲郡市 水野 康弘(中二)  
 残り雪竹刀をふる手がふるえてる 大垣市 安田 龍生(小五)  
 鳥たちの声がめざまし春の朝 大垣市 木村 ひな胡(小五)  
 まってたよ入学しきの一年生 大垣市 くわ原 ゆな(小二)  
 うめの花うすいピンクのかぜになる 大垣市 大原 みゆ(小二)  
 いぶき山もうじきぬぐよ雪の服 大垣市 海野 創平(小三)  
 朝ねぼうまだまだねたいねこになる 大垣市 箕浦 遙(小三)  
 めが出たね自分の力でチューリップ 大垣市 三島 愛結(小三)  
 春の川さくらながれるさとうばし 大垣市 松原 優馬(小三)  
 ぼくの家おにはいないがまめをまく 大垣市 木村 優希(小五)

入選

あと少し卒業までと太鼓打つ 大垣市 佐藤 尚哉(小六)  
 登下校最後の班長山笑う 大垣市 高橋 香帆(小六)  
 卒業式指揮の手の先みんないる 大垣市 廣瀬 未侑(小六)  
 いちごたべお口の中ははるになる 大垣市 大橋 明音(小二)  
 さくらもちまあるいお顔ピンク色 大垣市 浅野 聡美(小三)  
 つくしんぼ春をしらせるたつきゅうびん 大垣市 芦野 涼也(小三)  
 犬ふぐり見えないところどこっそりと 大垣市 西脇 楓華(小四)  
 だれのつたぶらんこゆれる日がくれる 大垣市 那須 春仁(小四)  
 ちようがとぶすべてのものとおどってる 大垣市 馬淵 裕輔(小四)

選者吟

耐震の校舎震わす卒業歌

説田 祐子